



# 津田梅子

1864(元治元)年~1929(昭和4)年

明治の教育家。日本初の女子留学生の一人で、女子英学塾(現：津田塾大学)の創設者であり、日本における女子教育の先駆者。また、欧米の学術雑誌に論文が掲載された最初の日本人女性。

# まなびや

## 6歳でアメリカ留学

一八六四(元治元)年、江戸牛込生まれ。一八七一(明治4)年、明治政府が不平等条約の改正を目指して欧米視察に派遣した「岩倉使節団」と一緒に渡米。満6歳で、北海道開拓使が募集した日本最初の女子留学生5人のうちの1人だった。アメリカでは、ワシントンDC近郊のジョージタウンに住むランマン夫妻の家に預けられ、一八七三年にはキリスト教の洗礼を受けた。ランマン夫妻のもとでアメリカの初等・中等教育を受けた梅子は、11年後の一八八二(明治15)年に帰国する。

## 元祖「リケジョ」

帰国後は伊藤博文の勧めで華族女学校で教鞭をとる一方、ヘレン・ケラーを訪問したり、ナイチンゲールと会見したり精神的に活動を続ける。日本女性が置かれていた状況にカルチャーショックを受け、その地位向上のために自分自身で学校を作ろうと決意。自分の意思で再び渡米し、

プリンマー大学で生物学を専攻する。共同研究で蛙の卵の発生について執筆した論文が一八九四年にイギリスの学術雑誌に発表されるなど、元祖「リケジョ」でもあった。

## 学問は「環境よりも意欲」 少人数教育を提案

一九〇〇(明治33)年、津田塾大学の前身「女子英学塾」を創設。英語を通じて視野を広げ、国際的教養のある女性を育成。開校式の式辞で、梅子はこう述べたという。

「真の教育には物質上の設備以上に、もっと大切なことがあると思います。それは、一口に申せば、教師の資格と熱心と、それに学生の研究心とであります」「人々の心や気質は、その顔の違うように違っています。したがって、その教授や訓練は、一人々々の特質に、しつくりあてはまるように仕向けなくてはなりません」「英語を専門に研究して、英語の専門家になろうと骨折るにつけても、**完き**婦人となるに必要な他の事柄を**忽せ**にしてはなりません。完き婦人即ち『all-round woman』となるよう心掛けねばなりません」津田塾大学HP

## 特集展示 おれになった人々

6月1日~7月7日

令和6年7月3日新しいお札が発行されます。今までもお札になった人たちは、教科書にも登場しています。今回の展示では、お札になった人物について、教科書やさまざまなお札を資料とともに紹介していきます。



## 三展示6月1日~7月7日

### オリンピック・パラリンピックと教科書

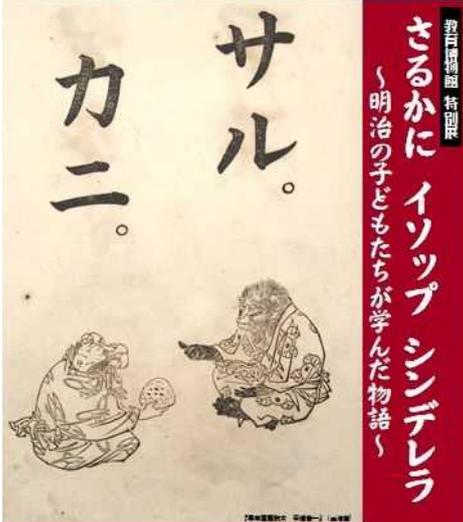
今回の展示では令和3年に開催した特別展「オリンピックと教科書」を再構成し、オリンピックやパラリンピック選手、大会でのエピソードを教科書とともにミニ展示としてご紹介します。



## 嶺南出張展示・小浜市

### 『さるかに イソップ シンデレラ』

【会場】若狭図書学習センター 【期日】6月12日(水)~23日(日)



今回の展示では、明治の子どもたちが学んだ物語を、当時の教科書を中心に紹介します。6月16日(日)会場で展示説明会開催